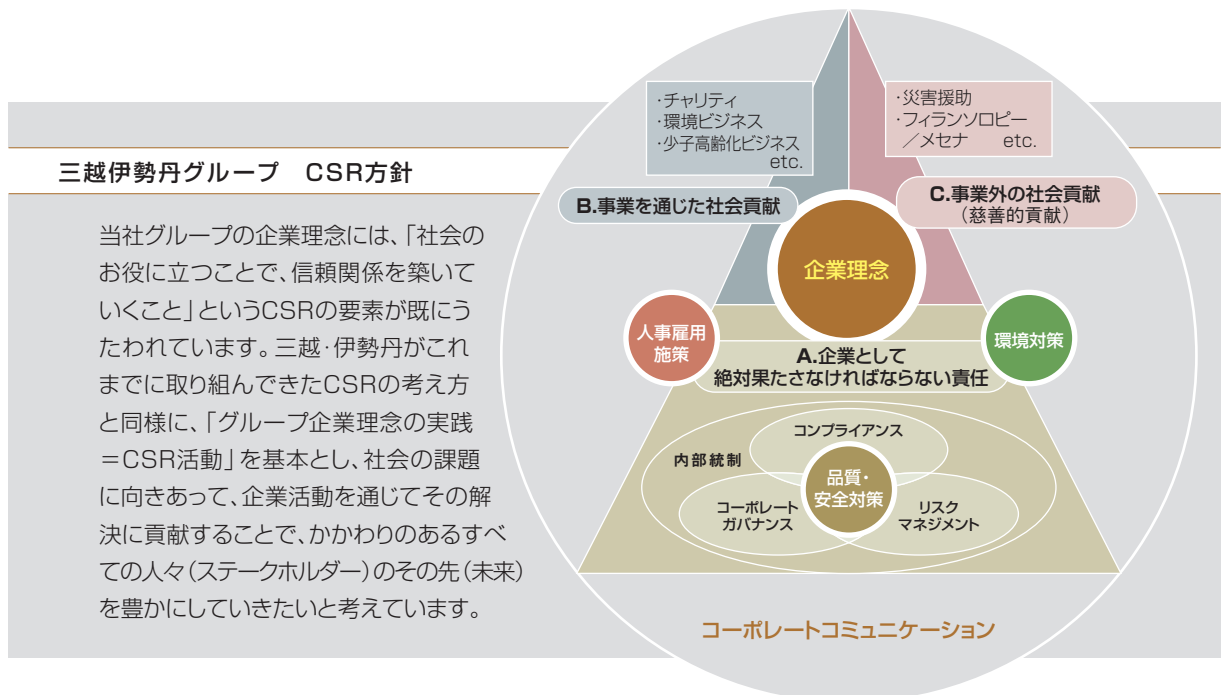


## コーポレート・コミュニケーション

三越伊勢丹グループは、お客さま、従業員、株主、お取引先、地域社会といったステークホルダーと良好な関係を構築するとともに、株主総会、取締役会、監査役会、会計監査人等、法律上の機能制度を整備、強化し、経営機構改革と併せてコーポレート・ガバナンス改革を推進します。また、企業の社会的責任を果たすという観点から、企業活動の透明性を高めるとともにコンプライアンス経営に徹し、ステークホルダーの皆さまから信頼される企業グループをめざし経営の意思決定の迅速化、経営監督機能の強化ならびに内部統制システムの充実などに継続的に取り組んでいきます。



## チャリティ活動を通じ、自然保護、環境保護に貢献しています。

### ●統合を記念して、チャリティキャンペーンを開催しました。

2008年4月1日、三越伊勢丹ホールディングスの誕生を記念し、「KISS THE EARTH 地球のために 子供たちのために WWF チャリティキャンペーン」を、国内32店舗で開催しました。

自然保護、環境保護に貢献するという観点から、ジャイアントパンダとホッキョクグマをモチーフにしたオリジナルベアブリックのストラップとピンパッチ（各300円）を販売し、うち100円をWWF（世界自然保護基金）ジャパンに寄付しました。

寄付金総額は合計で24,037,100円となり、WWFジャパンを通じて「違法な森林伐採の防止」や「密猟や密輸の防止」「地球温暖化防止」の活動に役立てられます。

石塚社長（左）より、WWFジャパン 徳川会長へ目録を授与



### ●三越・伊勢丹共同キャンペーン「チャリティTシャツ展」

2008年5月から6月、世界で活躍する国内外40ブランドのデザイナーから、メッセージをこめたイラストを寄せていただき、それをプリントしたチャリティTシャツ展「Bonds with Designers（ボンズ・ウィズ・デザイナーズ）」を、新宿伊勢丹・JR京都伊勢丹・日本橋三越等6店舗で開催しました。受注販売したTシャツ（5,000円）売上の収益金が日本の森林や海外の熱帯雨林の再生に役立てられます。

このキャンペーンでは合計18,603枚のTシャツが販売され、総額35,468,994円を、有限中間法人「モア・トゥリーズ」※に寄付しました。

※モア・トゥリーズ…2007年7月に坂本龍一氏ら5名の発起人と各界100人以上の賛同人を得て設立。「もっと木を」という想いが込められた有限責任中間法人。

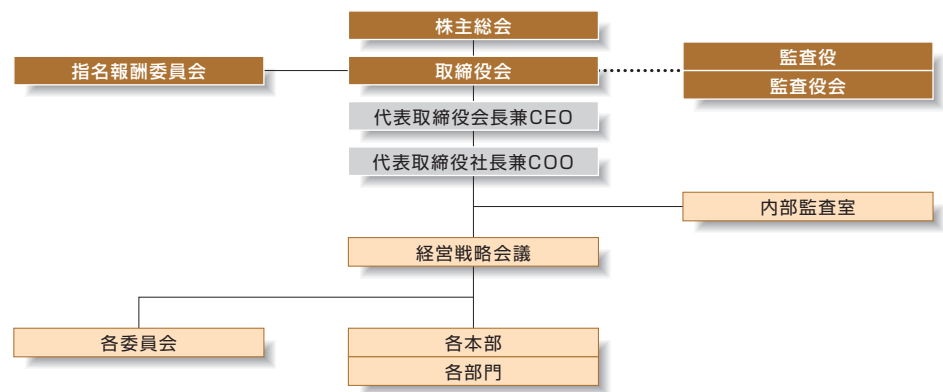


## コーポレート・ガバナンスと内部統制のしくみ

当グループは、監査役会設置会社の形態をとっており、取締役会の諮問機関として社外取締役を中心に構成される指名報酬委員会を設置し、ガバナンスの透明性を確立しています。さらに、執行役員制度を採用し業務執

行の効率化を図るとともに、意思決定の迅速化を図るために経営戦略会議を設置しています。この会議では、グループにおける経営資源の適切な配分と事業計画の立案と推進を行なっています。

〈内部統制関係図〉



## コーポレート・ガバナンス基本方針

株式会社三越伊勢丹ホールディングスは、グループ理念においてステークホルダーに対する姿勢をうたいつつ、世界随一の小売サービス業というグループビジョンの実現に向けた取組みを通じて、健全かつ透明性の高いグループ経営と企業価値の最大化を図り、業務の適正を確保するための右のような9つの体制を整備しています。

1. コンプライアンス体制
2. リスクマネジメント体制
3. 財務報告に係る内部統制体制
4. 情報保存管理体制
5. 効率的職務執行体制
6. グループ会社管理体制
7. 監査役スタッフに関する事項
8. 監査役への報告に関する体制
9. 監査役監査の実効性確保に関する体制

### ■ コンプライアンス

全従業員が法令および定款に準じ職務を行なう体制づくりを進めています。「取締役会規程」に則り月1回取締役会を定例開催し、取締役間の意思疎通を図るとともに相互に業務執行を監督し、法令定款違反行為を未然に防止しています。

また、管理本部にコンプライアンスに関する所管部署・担当を設置し、内部統制・法令遵守体制の維持・向上を図っています。内部監査部門として独立した専門部署を設置し、各部門と連携しながら業務遂行の適法性・妥当性等を監査しています。

そのほか、内部通報・相談窓口として、「三越伊勢丹グループホットライン」を設置し、当グループの従業員からの通報・相談に対して、グループ内コンプライアンスの視点から、是正措置・再発防止策の策定と実施を行なっています。

### ■ リスクマネジメント

優先的に対応すべきリスクを選定し、リスク発現を未然に防止する体制を整えています。また、リスク発生の際に迅速に対応できる社内横断的な管理体制を整備し、損害の拡大、二次被害の防止、再発の防止に努めています。

### ■ 財務報告に係る内部統制

適正な財務報告を確保するための全社的な方針や手続きを示すことで、適切な運用を図っています。また、財務報告の重要な事項に誤りが発生することを防止する体制を整えています。さらに財務報告内容をモニタリングするとともに把握された内部統制上の問題が適時・適切に報告されるよう図っています。